

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和8年6月定例会	
議案番号 議案名	議案第 11 号 松戸市総合計画の変更について
議員名・会派名等	政策実現フォーラム・社民
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	政策実現フォーラム・社民では、議会最終日に行った討論の原稿を掲載して、賛否態度の表明としています。 議案第 11 号の松戸市総合計画の変更についてです。そもそもこの総合計画については、基本計画と総合戦略の両方の役割をもつことで市の方向性がわかりやすくなっていると策定時から市は言っていましたが、私達はむしろわかりにくくなっていると思うという事はこれまでも指摘してきた通りです。 KPI や目標値が個別計画やこれまでの市の方針と本当に整合性がとれているのか？と疑問に思うような設定がされていたり、まだまだ改善の必要はあると思いますが、この間もっとも問題だと私達が考えていたのは、財政の見通しの甘さです。特に影響が大きかった扶助費をみても総合計画では、令和元年度決算 503 億円からほぼ横ばいという想定で、8 年間固定していた様です。それが、計画の初年度である令和 4 年度決算が 623 億円、令和 5 年度決算 654 億円ですから、2 年間で 270 億円も乖離していました。翌年の決算時には、総合計画の財政推計と乖離が生じているなど一定程度課題は認識していたが、直ぐには深刻な影響はないだろうと放置していたわけですから、この一点だけをもっても、まずは総合計画の見直しや修正をするべきだったのではないかとこの事を私達は訴えてきました。 今回の見直しで、今後は毎年度の決算が確定した後、その実績を基に推計数値を精査し、さらに精度の高い推計を提供する予定であるという事で、こちらは私達も要望していた事でもあり、評価している一方、財政の見通しは普通会計のみとなっている点は今後の計画策定時の改善に期待します。 特別会計、企業家計を含め一体的に示すと財源推計が複雑になる可能性があるとのことでしたが、議会は市政が抱える問題・課題を解決するために常に複雑な判断を迫られています。 総合計画は市政に関する最上位の基本的かつ総合的な計画で、今後の新しいまちづくりの方向性を市民と共有し、力を合わせて本市の将来の目指す姿を実現していくための指針となるものとされています。複雑だからといって市民や議会への共有をしないというのではなく、

	どんなに複雑であっても、行政は議会・市民を理解させる必要があります、それが真摯な対応というものではないかと思いますので、今後はそういった事も踏まえて次期計画策定にあたっていただきたいと思います。 以上、申し上げて会派を代表した私の賛成討論とさせていただきます。皆さんの満場のご賛同をよろしくお願いします。
--	--